

# 美濃ハツラツ通信

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

地区の世帯数	158世帯
地区の人口	371人
高齢化率	47.6%
(平成26年10月1日現在)	

12月22日は二十四節気の一つ「冬至」です。冬至は「日短きこと至〔きわま〕る」という意味です。日短きこと至るとは、一年で一番太陽が出ている時間が短い日ということになります。別の言い方をすると、この日は一年で最も夜である時間が長いということになります。そのため、昔の人々は生命の終わる時期だと考えていたようです。現在でもその厄を払うためにかぼちゃやお汁粉を食べて体を温めることで、栄養をとり無病息災を願う風習が続いています。これから寒さも厳しくなりますので、体調管理には気をつけてください。

## 第2回健康相談・健康教室

10月23日(木)

＜美濃地区健康を守る会＞



本年度2回目の健康相談・健康教室は笑顔の血圧測定から始まりました。もちろん、ご参加いただいた15人、全員が「元気印」。その後、全員で「美濃の里再発見ウォーキング」に出発。それぞれのペースで清水・有田下紅葉コース(?)を1周しました。深まる秋を目と耳と肌、そして太ももの筋肉で堪能しました。地域再発見のあとは食改さんの心のこもったおやつを頂きました。ご参加頂いた皆さん、ありがとうございました。



## グランドゴルフ講習会

10月28日(火)

＜美濃地区老人クラブ＞



二条の品川弥次先生をお招きし、グランドゴルフ講習会を実施しました。まずは坐学、グランドゴルフの基礎知識を学びました。そして、待ちに待った実技練習です。生まれて初めて手にするクラブですが、クワを持つ手を基準に右打ち、左打ちを確認しました。人生で最初の「第1打!」ボールはホールポストに向かって一直線!と思ったら・・・行き過ぎたあ、とどかん、どっちに行くの?などなど様々な歓声とどよめきが・・・



気がつくとも参加された17名全員から笑顔が溢れていました。11月26日(水)には第1回会長杯争奪G.G.(グランドゴルフ)大会が開催されますが、ホールインワン賞を手にするのは誰か? 第1回チャンピオンの栄光は誰の頭上に輝くのか?? 今から楽しみです。もしかすると、近い将来、美濃地区選抜チームが全国大会出場という事になるかも・・・



## 議会報告会

10月29日(水)

＜益田市議会＞



4人の市議員による議会報告会が行われました。それぞれの委員会報告が行われた後、報告会に参加して下さった地区の方々と意見交換が行われました。その際、ヒートアップする場面もありましたが、これも地域の将来を真剣に考えているからこそその行動だと思えます。1月には「市長と語る会」が予定されていますが、これからも美濃の声を行政に届け、明るい地区を築きましょう。



## 八幡さまのおまつり

11月3日(月)

＜美濃地八幡宮＞



「奉幣」

天候が心配された連休でしたが、八幡さまの神通力なのででしょうか、見事な秋晴れの中、美濃地八幡宮の例大祭が挙行されました。宮司さんにより祝詞が奏上され、巫女舞が奉納され、神輿の渡御(とぎょ)、地区民への祓い、そして恒例の餅まきと滞りなく粛々と式が進行いたしました。高齢化が進む中、渡御も担ぎ手がいなかったため、軽トラを使うなど寂しいものとなっていますが、地域を盛り上げ、本来の伝統行事を復活させたいものですね。美濃地八幡宮では奉幣(ほうへい)を用い、



氏子が産土(うぶすな)大神の御加護を受ける儀式が執り行われました。

ところで、お祓いの際に神職が使う道具を「大幣」・「大麻」と書き「おおぬさ」と読みます。「大麻」という言葉は、本来は「ぬさ」の美称で、「ぬさ」とは神への供え物や、罪や穢(けがれ)を祓うために使用する物のことです。大麻は、祓う対象となる人や物に向かって左・右・左と振って使用し、これによって大麻に穢が移ると考えられています。そしてお祓いの際に神職より頭を下げるようにとの指示がありますが、その際、大麻の麻や紙垂(しで)が祓う(通る)のは背後から厄が迫りくるとされている部分です。古来より縫い目は魔除けになるとされていて、大人の着物の背には縫い目が一本スッと通っていますよね。ですが、神事行事を取り行う場合、霊的に未熟な巫女やお囃子衆の背後から厄が迫らぬように「背守り」を衣装に縫いつけます。ちなみに小さな子供の着物の背中には縫い目がありません・・・だから、うぶ着をはじめとする子供の衣装には背中から魔が入り込まないようにとお母さんたちは心を込めて刺繍やひもを背守りとして縫い取っていたのです。



背守り

## 171年ぶりの「後(のち)の十三夜」

11月5日(水)



旧暦の八月十五日は中秋の名月、十五夜として知られていますが、旧暦九月十三日は栗名月や芋名月と呼ばれています。また、十五夜に次いで美しい月とされ、「十三夜」として親しまれています。一般に十五夜に月見をしたら、必ず同じ場所で十三夜にも月見をするものともされていました。これは十五夜だけ観賞するのは「片月見」といって忌まれていたからです。そして、今年は九月の後に「閏九月」が入るため「後(のち)の十三夜」という名月が鑑賞できました。前回の閏九月は1843年。天保十四年で、徳川家慶将軍のいた江戸時代末期です。1年で3回の名月を鑑賞できるのは奇跡とされ、天文ファンからは「ミラクルムーン」と呼ばれ注目を集めました。あなたは奇跡を体験しましたか?? ちなみにこの次、閏九月が入るのは95年後だそうですよ。

## 美濃の里ふれあいまつり

11月16日(日)

＜ふれあいまつり実行委員会＞

「晴れの神(?)」が降臨したかのような晴天に恵まれた、本年度のふれあいまつり・・・今年は心の込められた多数の展示品に始まり、それぞれの想いや気持ちとアイデアで満ち溢れた各団体のブース、中西中学校吹奏楽部の演奏、フラダンス、田植囃子、O×クイズ、そして最初で最後の美濃小学校思い出の展示にさよならの品々バザーとオークションでかつてないほど盛り上がりました。また、他地区からの出店もあり美濃地区以外からの来場者も多く、例年とは違う雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年度には小学校の解体工事も予定されているので、このような規模、会場構成でのふれあいまつりも、今年が最後となります。次年度からは新しいアイデアを取り入れ、地区民の皆さまには今まで以上に楽しんで頂ける「美濃の里ふれあいまつり」にいたします。

実行委員長 島田正樹

裏面もご覧ください

ハツラツ通信





# 暦こらむ

「聖人」とは「日知り人」のことで、日を知るとはその日がどのような意味合いを持った1日かを知ることです。旧暦は「生活暦」「農耕暦」などと呼ばれるほど生活に密着した暦です。旧暦を知ればあなたも聖人の仲間入りです。

## = 第7回【改暦の怪】 =

「改暦は、脱亜入欧、富国強兵、文明開化促進の要」という大きな旗印が掲げられ、それまで人々の生活の基盤であった「旧暦(太陰太陽暦)」と縁を切ったのは明治五年(1872年)十一月九日のことでした。十一月一日には暦を扱う商社の間で

新 暦	旧 暦	月	行事等
12月 6日	十月十五日	満月	
7日	十月十六日		大雪 【二十四節気】
14日	十月廿三日	下弦	
22日	十一月 一日	新月	霜月(十一月)朔(一日) 冬至 【二十四節気】
29日	十一月 八日	上弦	

はすでに新しい暦が刷り上っていた時期に突然、「明治五年十二月三日をもって明治6年1月1日とする」という、太政官布告が、出されたのです。岩倉具視、大久保利通といった、政府首脳が多くが、遣欧米使節団として不在の間に大隈重信大蔵卿は福沢諭吉と共に、この大改革を断行したのです。福沢諭吉は旧暦害悪論を展開し、「太陽暦(新暦、現在使われている暦)を金科玉条のごとく祭り上げたのです。その大義名分は、正当な理由に違いありません。しかし、実際のところは明治政府の財政難が、改暦の大きな要因だったようです。

明治六年は「旧暦」のままですと、閏六月があり、13回給料日のある年でした。もし、明治五年十二月三日が明治6年の1月1日になり、翌年が「太陽暦」で、「閏」がなくなれば、明治五年十二月と明治六年閏六月の2ヵ月分の給料がカットできるのです。どうやらこれが、大急ぎで行われた改暦の最も大きな理由だったそうです。政府の懐具合が国民の生活を大きく変えてしまった一例です。また、改暦と共に時を刻む時刻法も「不定時法」から「定時法」に改編されたのですが、そのことは、いずれ、このコラムで紹介いたします。

※このコラムでは太陰太陽暦(旧暦)を漢数字、太陽暦(新暦)を数字で記載しています。次回は「半か?丁か?の六曜」を予定しています。

## 公民館からのお願い

益田市立美濃小学校の歴史が刻まれた美濃小学校校歌額、表彰状、運動会旗等の品々をお預かり頂ける地区民の方を募集しております。「私に預からせてほしい」「私が美濃小の歴史を守ってみせる」「蔵や納屋の隅っこに空きがあるよ」・・・美濃魂、男気を見せていただけませんか?? 校歌額に関しましては公民館保管も考えたのですが、保管環境を考慮した際、公民館での保管は厳しいとの判断をいたしました。つきましては地域の皆様の御協力をお願いいたします。

## 御礼

＜美濃地区社会福祉協議会＞

『ジャスミンの会 様』『どんぶりの会 様』『椋木ナツ子 様』

美濃地区社会福祉協議会に対しまして御寄附を頂戴いたしました。心より御礼申し上げます。

会長 中島 保

## 【12月】 これからの地区内行事予定

2日(火)	巡回診療日(神埼内科)	13:30 ~	【美濃診療所】
4日(木)	巡回診療日(村野医院)	13:30 ~	【美濃診療所】
11日(木)	巡回診療日(林医院)	13:30 ~	【美濃診療所】
12日(金)	第3回ふれあい給食会	10:30 ~ 12:30	【美濃公民館】
14日(日)	衆議院議員総選挙	7:00 ~ 18:00	【美濃公民館】
16日(火)	巡回診療日(神埼内科)	13:30 ~	【美濃診療所】
18日(木)	巡回診療日(なかしまクリニック)	13:30 ~	【美濃診療所】
25日(木)	巡回診療日(すみかわクリニック)	13:30 ~	【美濃診療所】
26日(金)	しめ縄作り(教育協働化事業)	9:00 ~ 11:30	【美濃公民館】

平成26年12月27日(土)~平成27年1月4日(日) 公民館休館

※行事の詳細はその都度ご案内いたします。日程は変更される場合もあります。